

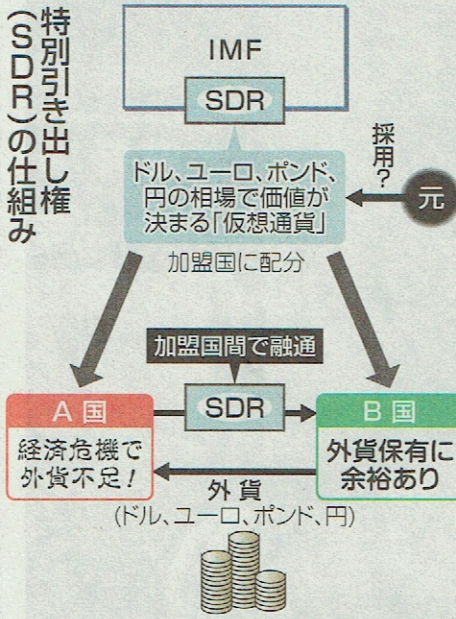
中国、人民元切り上げ

基準値 05年来最大 0.54%

【上海＝共同】中国人民銀行（中央銀行）は二日、人民元取引の対ドル基準値を一ドル＝六・三二五四元と、前週末（十月三十日）の基準値より0・54%元高に設定した。ロイター通信によると、二〇〇五年の元切り上げ以降、基準値の一日の切り上げ幅としては最大。市場関係者によると前週末に元が大幅に上昇したことを受けた措置で、元高には人民銀行の介入があったとされる。

値が前週末比で0・32%安の一ドル＝六・三二七九元だった。人民銀行はことし八月十一日に「為替レートの市場化を進める」として、毎朝発表する基準値の設定に当たっては前営業日の終値を一層重視して決めると発表した。人民元の対ドル相場は基準値を中心に、一日当たりそれぞれ上下2%の変動が認められている。

十月三十日の元の終値は前日比0・62%高の六・三一七五元で、市場筋によると〇五年の切り上げ後、一日の上昇率としては最大。二日の人民元相場は、終



なぜ短期間に上げ下げ?

特別引き出し権 (SDR)の仕組み

中国人民銀行が2日、通貨・人民元を切り上げた。中国は8月に人民元を切り下げたばかり。なぜ、短期間に中

国は人民元を上げたり、下げたりしているのだろうか。背景を探った。
(渥美龍太)

国際通貨入りへ 実勢反映アピール

Q 切り上げてどういふことと。
A 人民元の価値をドルに対して引き上げたんだ。円やドル、ユーロなどの通貨は市場の自由な取引で価値が決まるけど、元は当局が管理する「管理変動相場制」。日本の日銀に当たる人民銀が、取引の目安になる「基準値」を毎朝市場に示し、この値の上下2%以内でしか取引できないように制限している。この基準値を引き上げたんだ。

Q 八月には元の切り下げをしたよね。
A 経済が減速しており、市場からは「国内企業の輸出競争力を保つため」といわれていた。通貨が安い方が輸出に有利だからね。今回の切り上げについては、S M B C日興証券の肖敏捷氏は「実勢レートに即して輸出に不利な切り上げもするのだから、恣意的な為替操作はしていない」と国際社会に示す狙いがあったと推測している。

Q 何でそんなことをする必要がある？
A 国際通貨基金 (IMF) は特別引き出し権 (SDR) の構成通貨に人民元を加えることとで最終調整しており、元切り上げはこれを確実にするためとの見方が出ている。

Q SDRって？
A 経済危機に陥った加盟国を支援するため、IMFがつくった仮想の通貨だ。小切手のようなものと考えてほしい。IMFはこれを加盟国に配り、外貨不足に陥った際にSDRを他国に渡して外貨を融通してもらうんだ。

SDRは今、米ドル、ユーロ、英ポンド、円の相場で価値が決まるけど、中国はここに人民元を加えてもらおうと狙っている。今月にも五年に一度の見直しが決まるといわれ、中国は何かと不透明さを指摘される人民元の改革を進めてきたんだ。

Q 中国はなぜ、構成通貨に入りたいの？
A 構成通貨に入れば、IMFが元を「国際通貨」だと思わせる付与をくれたことになる。国際的な取引の決済で多く使われる通貨になれば、中国にとって貿易の為替変動リスクがなくなるなど、メリットも多い。将来は米ドルと並ぶ存在にしたい、という狙いがあるようだ。